

東印空軍機務第一號ノ三三

軍機秘

自昭和二十年一月一日  
至昭和二十年一月三十一日

東印海軍航空隊ヲ為ル派遣隊戦時日誌

東印海軍航空隊ヲ為ル派遣隊

(竹分抄)

0829

(目次)

一 作戰經過概要

二 人員ノ現狀

三 燃料

四 醫務衛生

0830

自昭和三十年一月一日  
至昭和三十年一月三十一日  
東印海軍航空隊マカッサル派遣隊戦時日誌

一、経過概要  
昭和三十年一月  
東印海軍航空隊マカッサル派遣隊

五	四	三	二	一	日
東高曇 二四・一〇 二〇〇	東本曇 二三・三八 二〇〇	北東雨 二四・一三 一七三	東薄曇 二三・一六 二六〇	高曇 二四・一六 二六〇	午前六時 氣象 天候 風向 風速 視界(特)
北高曇 二〇・一〇 二〇〇	北本曇 二八・三三 二〇〇	北西曇 二六・一五 一〇〇	北本曇 二八・三〇 〇九〇	北高曇 二九・一五 二〇〇	正午
北薄曇 二九・一七 〇五七	北高曇 二七・四〇 二〇〇	東雨 二五・一三 〇七三	西雨 二六・四〇 四九〇	北高曇 二九・一〇 二〇〇	午後六時
空	航	三	十	第	一般 任務
					特 務
整備作業 (増差隊附近道路修繕) パンパン在敵機二〇〇 ライオン上空砲撃南東ニ去ル 機三機				〇九〇拜賀式 〇九〇インシテB27六機進行北面 カシヤン雲層機四五度方角進行三三度 ライオン上空砲撃南西ニ去ル 機三機	経過摘要 記事

0831

十二	十一	十	九	八	七	六
北本 二四一 一七	東南 二四〇 一七	東北 二四〇 一七	東 二二一 一八	東高 二二七 一七	東薄 二二四 一七	東快 二二四 一七
北高 二二八 一七	北西 二二七 一七	北西薄 二二九 一七	北西 二二九 一八	西本 二二八 一七	西本薄 二二九 一七	西快 二二九 一七
南 二二五 一七	北西高 二二七 一七	西薄 二二九 一七	西高 二二九 一七	北西 二二六 一七	西高 二二九 一七	西薄 二二九 一七
印	東	屬	附	隊	艦	
空 航 八						

機四機一機北上空一〇五ブルズバ 二〇四道行西パイコンソリ二機 十中上電機機道行西パイコンソリ 空通道南西ニ去シ	全 (貯糧品分散格納)	整備作業 (貯糧品分散格納)	整備作業 (貯糧品分散格納)	整備作業 (貯糧品分散格納)	整備作業 (貯糧品分散格納)	整備作業 (貯糧品分散格納)
機官ナシ		パイロット基地ニ 帰隊ス	パイロット基地ニ 帰隊ス	パイロット基地ニ 帰隊ス	パイロット基地ニ 帰隊ス	パイロット基地ニ 帰隊ス

0832

十九	十八	十七	十六	十五	十四	十三
東本 二四〇七 二六	十本 二四〇三 一〇三	東本 二四〇〇 一〇〇	十本 二四〇三 一一三	東本 二四〇七 一一七	東本 二四〇一 一四〇	十高 二四〇三 一九三
北西 二九一〇 〇三〇	北西 二八〇五 〇二二	北東 二九一〇 〇三三	西本 二七〇七 〇七七	北西 二七〇六 〇六七	北東 二六〇九 〇九五	北高 二八〇三 〇三七
西高 二九〇三 〇一三	北西 二八〇六 〇六七	西高 二七五二 〇一四	北西 二七〇八 〇一五	西高 二七〇八 〇一八	北西 二九〇〇 〇〇〇	北高 二七〇七 〇七〇

隊 空 航 軍 海  
務 任 隊 戦

(射撃塔載) A	( ) A	(防空機) 令	陸軍部隊、基地駐留燃料倉庫 管長燃料 (下二機三五本)	( ) 令	( ) 令	(清東隊側並路修理) 整備作業
(下二機一五本) A	(下二機三〇本) A	(下二機四五本) 令			八〇六ウ基地隊 兵員中四名 整備隊二機隊	

0833

二十六	二十五	二十四	二十三	二十二	二十一	二十
東高曇 二四一七 二四	東北晴 二四一三 一一	東高曇 二三一三 一一	北東本曇 二三一三 一〇	北西雨 二六五〇 一三	東雨 二四一〇 一一	ナシ晴 二五〇三 一一
北西晴 二九三三 〇九	北東薄曇 二九三二 〇九	北東薄曇 二八三七 〇九	西西北雨 二四二〇 四八	西雨 二九一〇 四一	北本曇 二五二六 四七	西本曇 二六四四 〇四
北東晴 二九三三 〇七	北高曇 二九三七 〇九	西高曇 二七四八 〇五	東雨 二九一八 二九	北西雨 二六一七 四二	北雨 二五八三 四五	西本曇 二七六五 〇二
ル                  廿                  ッ                  カ                  マ						
航                  乙                  稱                  後)						

(全)	(全)	整備作業 (燃料分散)	〇七〇六六イン雷探機射撃方向ノルズバ方位南 海爆音聞ユロ一二不明爆音ハソバイン進行 北西〇一九ライカ上空通過数機進行北面去ル	(全)	(全)	整備作業 (野糧の搭載)
(下ラミ鏡一五本)	陸軍サビリ航空隊 貸出航空燃料 (下ラミ鏡一五本)			(下ラミ鏡三〇本)	(下ラミ鏡三〇本)	陸軍サビリ航空隊 貸出航空燃料 (下ラミ鏡三〇本)

0834

考 備	三十一	三十一 東北快晴 二二七 四一〇	三十 北西雨 二五三 一五六	二十九 北雨 二四三 一八三	二十八 西雨 二四一 一〇三	二十七 東晴 二三七 一〇七	マカッサル派遣隊 ライカン基地 自一月一日 至一月三十一日	本部 スラバヤ	東北雨 二七〇 四一〇	西北雨 二七〇 四一〇	北雨 二四二 四六〇	東高曇 二六一 四一七	西南晴 三〇五 二〇七	
									東快晴 二六一 一〇八	西本曇 二二六 一〇六	西北雨 二六三 一〇〇	北雨 二七三 一〇六	西北雨 三〇八 二〇七	
									隊遣派					
									(隊空)					
									〇九〇陸軍MC輸送機 リンパン向進	陸軍MC輸送機二機〇五〇着陸 (リンパン向着予定、処置要候 為当基地着)	合	合	整備作業 (燃料分散)	

0835

二人員現狀

(一) 職員官氏名

職	主務官	氏名	記	事
補東印海軍航空隊附	三指力機官	松岡清一	昭和十九年十月六日着任	

(二) 下士官兵其他(別任文官以下)ノ員數

員數	区分	兵科	飛行科	整備科	機関科	工作科	医務科	主計科	其他	計
五										
一										
四〇										
六										
四										
二										
五										
一										
六二										

三、燃料

品名	消費量	其他	計	補給量	格納状況
航空九二揮発油	四八		四八		飛行場ヨリ二料、地兵 森林地带五箇所ニ分散
航空二〇破油	一		一		

備考右ノ陸軍襲部隊ニ補給セシモノ